

大樹の礎

Taiju no Ishizue

第29号 2022 3.18

発行者：学校法人 城西 医療 学園

日本医療科学大学
Nihon Institute of Medical Science

〒350-0435
埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276
TEL.049-294-9000
URL https://www.nims.ac.jp



求人数2万突破。新設学科にも高い関心

過去に開催された求人説明会

令和3年度 就職内定先の都道府県別人数とUターン割合

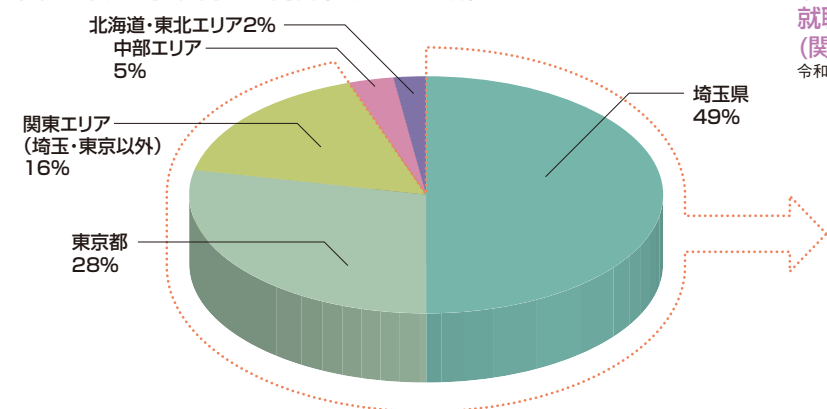
令和4年2月14日現在

	4年生の 在籍人数	内定先 (人数)	Uターン (%)
北海道	1	0	0
青森	2	0	0
岩手	1	1	100.0
宮城	7	1	14.3
秋田	5	0	0
山形	2	0	0
福島	9	2	22.2
埼玉	156	95	43.6
東京	23	53	43.5
千葉	8	8	25.0
神奈川	4	6	0
群馬	34	10	26.5
栃木	8	3	25.0
茨城	12	3	16.7
新潟	7	0	0
山梨	6	3	50.0
長野	12	6	41.7
静岡	3	1	0
兵庫	1	0	0
宮崎	1	0	0
沖縄	1	0	0
合計	303	192	平均34.7

※4年生の在籍人数、内定先がある都道府県のみ表記

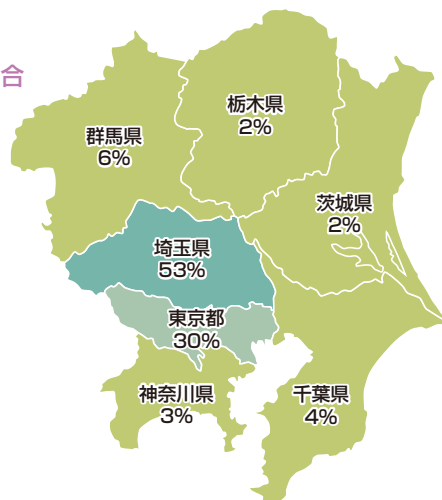
令和3年度 就職内定先割合(全国エリア別)

令和4年2月14日現在



令和3年度 就職内定先割合(関東エリア)

令和4年2月14日現在



Finding Employment

就職率100%で希望する職場へ「就活ゼロ宣言」で完全支援

本学は「就職率100%」を続けています。コロナ禍にあっても、学生の就職活動の不安を「ゼロ」に。国家資格取得に向けて集中できる環境を作るために、就職活動の負担を「ゼロ」にすべく完全フォローアップで学生を支えています。

就職支援センターには、キャリアコンサルタントの有資格者が常駐しています。個別面談を重ね、一人ひとりの希望や適正などを把握し、アドバイスをを行います。また、4年生までに病院実習での経験を積み重ねることで、学生は医療従事者として仕事に臨む姿勢について理解を深め、就職活動を行う上での下支えとなる揺るがっています。

令和3年度 就職内定状況(月別延べ人数)

令和4年2月14日現在

	~7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
R	1	0	4	4	6	10	4	3	32
PT	0	1	4	20	9	10	1	1	46
OT	0	1	1	3	5	8	1	0	19
N	57	11	8	3	2	1	0	0	82
ME	0	1	2	3	2	11	0	2	21
合計	58	14	19	33	24	40	6	6	200

コロナ禍に求人数増
新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中で、各医療施設の求人に変化はあるのでしょうか。就職状況の変化など、工藤昌弘就職部長に話を聞きました。

工藤就職部長 全体としては採用時期や募集活動に大きな変化はなかったものの、看護師は昨年度に引き続き、採用時期を早めた病院施設もあり、また、面接をオンライン



工藤昌弘就職部長

で実施する施設も増えていきます。今年度は、新設の臨床検査学科を除く5つの学科専攻に、2万人を超える求人が寄せられ、本学に対する病院施設からの高い関心を感じています。

本学の求人検索システムは、病院の採用担当者の方に求人情報を直接入力していただけるようになったことで、学生はどこにいてもすぐに求人情報を得ることが可能となりました。現在、本学ではこれまでに多くの医療従事者を輩出し、それが医療現場で活躍しています。その実績と相まって、これだけ多くの求人につながるのだと思います。そして、多くの求人があるという

ことは学生にとって希望する就職先を見つけるための選択肢が広がります。

各病院施設から周知の要望
新設の臨床検査学科も加わり、今後の本学に対する病院施設の期待や反応はいかがでしょうか。工藤就職部長は、次のように話します。

工藤就職部長 多くの求人がある中で、病院施設などからは卒業後の就職を見越して、1年次から学生にも周知してほしいという声が届いています。学生が早い段階で希望の進路先を視野に入れ、計画的に活動することで、内定獲得に近づけるので、国家試験合格に向けてより集中できる環境となります。

工藤就職部長から卒業生へのメッセージ
本学卒業の二期生との会話の中で、卒業後の経歴や経験談を聞いたところ、計画的にかつ、着実にキャリアを積んでいることが分かり、さらに成長しようとする意欲に力強さを感じました。

就職は卒業される皆さまにとって、ご自身のキャリアのスタートです。失敗を繰り返しながらも、できることを少しずつ増やしてください。それが必ず自信につながります。

就職支援センターでは、既卒者の相談にも対応しています。遠慮なく連絡してください。



オンライン個別面談にも対応しています

福島県いわき市と連携 地域医療への貢献

本学は、福島県いわき市といわき市医療センターと協定を結び、寄附講座「小児地域総合医療学(いわき市)」を開設しました。



寄附講座開設記念式を 執り行いました

昨年11月、いわき市役所にて寄附講座開設記念式を挙行了しました。記念式の後には、いわき市における小児医療の現状や今後の展望などについて意見交換を行いました。

また、本学の前身である城西医療技術専門学校の卒業生で、いわき市医療センターに勤務する診療放射線技師の渡邊さんに同センターの施設を紹介していただきました。



卒業生の渡邊さん(中央)

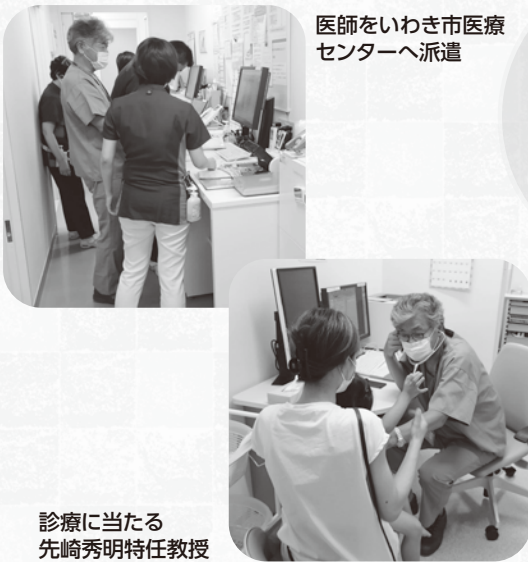
小児医療体制改善へ

本学には福島県出身の学生が多く在籍していることから、学生の出身地を支援したいとの想いで寄附講座を開設しました。

この寄附講座は、いわき市からの寄附を基に設けられ、いわき市における小児医療の現状を分析・把握し、小児科医をはじめとした、診療放射線技師・理学療法士・作業療法士・看護師・臨床工学技士・臨床検査技師などのコメディカルスタッフを含む小児医療体制の改善を目指し活動しています。

活動の一つとして、本学に所属する先崎秀明特任教授ら医師をいわき市医療センターへ派遣し、診療にあたりました。

本学はこれからも、様々な地域貢献活動に取り組み、地域の活性化や社会連携に努めていきます。



医師をいわき市医療センターへ派遣


診療に当たる先崎秀明特任教授

事務局紹介 第8回

「国家資格の取得」と「充実した大学生活」の両立を目指し、さまざまな事務局がサポートに努めています。今回は学務課をレポートします。

学務課

学務課では、社会のニーズに適応し教育の充実を図るため、教育課程の変更など官公庁への申請や他大学・自治体・事業者等との連携による学生交流イベント、公開講座、教職員研修等を実施しております。また、寄附講座の新設や地域の消防団活動への参加など、高等教育機関として社会貢献活動にも取り組んでおります。



2021年度の主な学内活動

NIMSスポーツ大会2021を開催しました!

昨年12月、「NIMSスポーツ大会2021」を開催しました。バスケットボール大会には約85名、本学初開催となるeスポーツ大会には約20名が参加しました。

様々なイベントが中止になる中で、他学科・専攻との交流を深める好機とあって、各競技で熱戦が繰り広げられました。参加した学生からは「またぜひ参加したい」「次回は違ったスポーツやゲームをやりたい」など、熱い声が聞かれました。



バスケットボール大会を制したR3年生チーム



学業に励む姿と全く違う熱い姿が見られました



eスポーツ大会初の栄冠は、PT2年生の加世田さんに



対戦格闘ゲームの技を競った「eスポーツ大会」

学生機能別消防団員の活動

学生機能別消防団員は、広報啓発活動・防災活動などに限定した活動を担います。本学では、学生に地域の医療活動への興味・関心を持ってもらい地域貢献活動につなげるよう取り組んでいます。また、これまでの活動が認められ、西入間広域消防組合より「消防団協力事業所」に登録されました。



埼玉医科大学の学生と合同で「普通救命講習」を受講し、一次救命処置(心肺蘇生とAED)、異物除去や止血法などを学びました。

学内の消防設備の点検

学生支援

本学では、長引くコロナ禍の影響を受けている学生への生活支援を続けています。昨年度に引き続き、年末には一人暮らしの学生への食糧の支援も行いました。また、生乳大量廃棄問題を受け、牛乳・ヨーグルトの無償提供を実施し、食品ロス削減に対する意識も高まる機会となりました。

今後も学生に対する支援活動に努めていきます。



牛乳、ヨーグルトの配布食品ロスに貢献



年末に行われた一人暮らしの学生への支援